中学校２年　英語　調査結果の考察

（１）設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	観点別			領域別			計
	表現の能力	理解の能力	知識・理解	聞くこと	読むこと	書くこと	
＋10％ より高い	0	1	0	0	1	0	1
±10％ の範囲内	2	8	5	5	5	5	１５
－10％ より低い	2	2	0	2	0	2	4
計	4	１１	5	7	6	7	２０

（２）考察

①　全体について

ア　「知識・理解」の学習状況は、おおむね良好である。

イ　「表現の能力」及び「理解の能力」においては、良好であるとはいえない。特に、「表現の能力」では「正確な筆記」に、「理解の能力」では「適切な聞き取り」に課題が見られる。

②　成果

ア　日常の指導により、「読むこと」の学習状況は良好である。特に、複数の情報を関連付けながら大切な部分を読み取ることにおいて改善が見られる。

イ　「１日１文３単語」運動への取り組みや繰り返し指導等により、「書くこと」に対する意識が高まり、特に、文法に従って正しく文を書くことに改善が見られる。

③　課題

ア　「聞くこと」の中で、聞いた内容について大切な部分を聞き取る力や、質問や依頼などに対して適切に応じる力が十分身に付いていない。

イ　「書くこと」の中で、対話の流れ、展開を理解し、答えの内容からその質問文を書く力が十分身に付いていない。

（３）今後の指導

ア　大切な情報を正確に聞き取る力や質問や依頼などに対して適切に応じる力を付けるための指導の工夫が必要である。

・自然な口調で話される英語を聞いて、事実や出来事などについての必要な情報を正しく理解させる。

・英語を聞いて質問の内容を理解し、適切に答える言語活動を繰り返し行う。この際、時制や do(does) 及び be動詞など文頭の語句を確実に聞き分けて答えさせることが大切である。

・場面の設定に工夫をしながら幅広く言語活動を行わせる。その際、場面や状況によっては、相手の意向をくんで実際に動作に移すなど、適切に応じる指導を充実させる。

イ　日常の学習活動の中で、文法事項は言語活動と関連付けて定着を図る指導の工夫が必要である。

・言語材料について理解したり練習したりする活動と実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動をバランスよく行う。

・「聞くこと」「読むこと」の言語活動では、自らの体験や考えと結び付けて「話すこと」「書くこと」を通して発信するなど他の技能と関連付けた指導を工夫する。

・言語活動を行う中で対話における文脈や話の展開を理解させる。その際、時制や様々な疑問詞等に着目させ、文法に従って正確に書く活動を取り入れる。さらに、「１日１文３単語」運動を引き続き推進し、短時間でも英語に触れる時間を日々設ける。

※実際の指導例：(15

身近な言語の使用場面を設定し、思考・表現させる言語活動を取り入れる。

（例）「先週の日曜日にしたこと」について

A：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ last Sunday?
B：I went to＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ with my family.
A：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ there?
B：We saw ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿. ＿＿＿＿＿＿＿＿.
A：Great!　　*自分の考えや気持ち

写真（絵）
かまくら祭り

①写真（絵）を参考にし、時制、適切な疑問詞、文脈や話の展開などに留意しながら、自分の考えや気持ちなどを加えてペアで対話文を完成する（話の展開を理解し、適切な言語材料を使って英文を書く）。

②音声の特徴や表現方法等に留意し、ペアで対話練習の後、発表する。

③聞き手の生徒は、聞いた内容を基に話し手に質問するなど、英語で問答する。

◎言語活動を行う際には､複数の技能を関連付けた指導の充実を図ることが大事である。